

(別表第1の3)

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年8月1日

【評価実施概要】

事業所番号	3873500650		
法人名	医療法人河辺整形外科		
事業所名	グループホーム浜っ子		
所在地	伊予郡松前町浜858番地 (電 話) 984-2001		
管理者	三好 奈保子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年6月15日	評価確定日	平成19年8月3日

【情報提供票より】 (19年5月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 15 年 10 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 8人, 非常勤 6人, 常勤換算	13.5人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(3) 利用者の概要 (5月20日現在)

利用者人数	14 名	男性 4 名	女性 10 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢	平均 82 歳	最低 57 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定 (あり・なし)	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり (なし)	短期利用型共同生活介護
加算 あり (なし)	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは鉄骨3階建ての2、3階にあり、町の中心地に建てられている。近くに伊予鉄道の駅、中学校、町役場等がある。1階の玄関は施錠されておらず、自由に入出入りできるようになっている。共用のスペースは季節の物や花が飾られており家庭的である。職員は、理念にあるように笑顔でケアを行い、利用者の日々の暮らしを支えている。利用者の表情は明るく、自分のペースで自由に過ごしている。ホームは自治会に加入し、地域の行事に参加して地域との交流を深めるよう努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
理念は全職員で話し合い、具体化し、実践している。手拭きはペーパータオルに変更している。目に付くところにあった洗剤等は、カーテンで仕切りを行い見えなくする工夫をしている。地域との連携は徐々にできはじめている。改善中及びまだ改善できていない課題は、今後の課題として取り組む予定である。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
管理者及び全職員が意見を出し合い自己評価を行った。自己評価の結果、気づきもあり、サービスの向上に活かすようにしている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
主な討議内容として、地域に関する情報を提供してもらったり、意見交換を行っている。会議を開くことにより地域の理解が得られるようになってきている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
意見箱を設置し、ホーム側の苦情相談窓口は居間に掲示し、家族の来訪時には意見を出してもらえるよう心がけている。第三者に相談できる公的相談窓口の記載がないので、文書に記載し、本人・家族に説明することが望まれる。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
自治会に加入し、地域の行事に参加している。運営推進会議を開くことにより地域との交流ができてきているが、さらに地域の一員としての役割を担うなどして地域との連携を深めることを期待したい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに○を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム浜っ子

(ユニット名) グループホーム浜っ子 2F

記入者(管理者)

氏 名 三好 奈保子

評価完了日

19年 5月 20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 月2回のミーティングを利用して、職員が話し合い、理念を作った。 (外部評価) ミーティングで職員が話し合い、ホーム独自の理念をつくり、実践している。		わかりやすい言葉で、大きく掲示し、家族様にも知っていただく。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ミーティング等に確認を行ったり、日常的に意識するよう声かけを行っている。 (外部評価) 居間に理念が掲示されており、職員は常に目にすることができる。理念の通り笑顔で利用者と過ごしており、共有化されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 毎月のお知らせの他、家族様に個人的にもお知らせしている。		地域の方々にもお知らせできる方法を考えたい。
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 敷地内にベンチを置いたり、草花を植えたりして、立ち寄ってもらいやすい環境を整えているが、日常的な付き合いができるほどには至っていない。		地域の一員として、地域との交流の輪を広げていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事の運動会や文化祭などに定期的に参加したり、保育所の園児さんに来ていただくなど、地元の方と交流している。 (外部評価) 自治会に加入し、地域の行事に参加している。保育園児との交流もある。	※	地域の情報を集め、地域の一員として参加したり、役割を担ったりして、地域との交流をさらに深めていくことを期待する。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) まだまだ地域との関わりが少ないため、できていない。ミーティング時に話し合っている。		まずは、日々の交流から信頼関係を深めたい。その後、独居老人の方に食事に来ていただいたり、地域行事のときにグループホームを利用していただくなどを検討している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 理解はできているが、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいるが、結果はまだ出ていない。 (外部評価) 評価の意義は理解しており、自己評価は職員全員で行っている。外部評価の結果について改善に取り組んでおり、現在改善中の項目もある。		ソフト面で、評価を活かす改善の具体的な取組みをする。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) できている (外部評価) 会議には職員、利用者、家族、地域住民、町や地域包括支援センター職員の参加があり、意見を出してもらうことにより地域との関わりができては始めている。	※	さらに地域住民の理解を深め、利用者が地域で暮らしていくために、出された意見をサービスの質の向上に活かしていくことを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 疑問点や質問事項があれば、その都度市町村に赴き、相談している。 (外部評価) 町役場がすぐ近くにあり、疑問点や質問、相談などに対して連絡する機会をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 県やグループホーム協会からきた研修に参加し、理解を深めるようにしている。		職員間で共有できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者さんの日々の状況から、小さな変化も見逃さないようにすることによって、防止に努めている。		職員全員に研修に参加して学んでもらいたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) できている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) できることから改善している。また、改善できるように努力はしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月に1回は定期報告をしている。 また、利用者の状況に応じて、電話で報告・相談をしている。		報告の内容を今よりも充実したものにしたい。
			(外部評価) 毎月、領収書と共に現在の状況を郵送にて報告している。また、家族の訪問時に報告したり、状態に合わせて電話や手紙で報告している。	※	ホーム便りをつくる予定があるので、早期の実現を期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設けたり、直接聞くなどして、意見は吸い上げている。		相談員制度について、家族に知らせていきたい。
			(外部評価) 意見箱を設置し、ホーム側の苦情相談窓口を居間に掲示している。家族の来訪時には声をかけ、意見を出してもらえるように心がけている。	※	第三者に相談できるように公的な苦情相談窓口を文書に記載し、本人や家族に説明することが望まれる。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回～2会程度、スタッフミーティングを行い、機会を設けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者の判断により、勤務の調整をしているが、職員からの提案による調整もし、協力してもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の都合による異動があり、入居者にダメージを与えた。 (外部評価) 職員は各ユニットを行き来しており、利用者に対して顔馴染みになるよう配慮している。		職場環境を整えたり、労働意欲を高めることによって、異動や離職を防ぎたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の案内があるたびに検討はするが、人員配置の関係で思うようにできていない。 (外部評価) 管理者は日々のケアの中で質の向上を図っているが、外部研修の受講が少ない。	※	職員の質の向上のためにも、外部の研修に積極的に参加できるような配慮が望まれる。また、研修報告は全職員に伝わる工夫が望まれる。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 意欲はあるが、積極的にはできていない。 (外部評価) 地域の同業者との交流は積極的とはいえない。	※	同業者と交流する機会をつくり、勉強会や連携を図り、地域全体のサービスの質の向上に向けて取り組むことを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 積極的に取り組んでいるとは言えない。		職員からの要望等に対して、もう少し細かく取り上げ、改善できる部分は改善していきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者を通して勤務状況は把握している。		職員個々の努力や実績については、声かけをしたり、給料に反映するなどして評価していきたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 努力している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 努力している		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前に数回訪問し、適切な対応を検討している。他のサービスについても説明し、相談の上、本人・家族の了解のもとに支援している。		より適したサービスが提供できるよう、他のサービスについても理解を深めていきたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族からの情報を集めることに重点を置き、馴染みながら利用していただけるよう配慮している。 (外部評価) サービスを開始する前に訪問したり、家族から情報を集めたりして、馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩として接し、共に過ごし共感することを大切にしている。 (外部評価) 職員は一緒に過ごす中で、話を聞いてもらったり、さりげなく声かけをしてお互い支えあう関係づくりをしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホームを訪ねてくれる家族さんに対してはできている。また、家族の方に近況を報告するミニレターを送って、本人について共有できるものを作っている。		あまり訪問のない家族さんへの働きかけをしていく。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族から詳しい情報を得るようにし、より良い関係を築く努力をしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) できている人とできていない人がいる。		全員の方に浸透させる。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲の良い悪い関係はあっても、食事・おやつの際は、そろってテーブルを囲めるよう工夫している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 相談があれば応じるが、こちらから積極的な働きかけはない。		定期的に訪問や電話をすることにより、継続的に関わるよう取組みを検討したい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 職員による担当制にし、その上で月2回のミーティング時や個人ノートで共有するようにしている。 (外部評価) 職員を担当制にして、日々の暮らしの中で要望を聞いたり、思いを言葉や行動から把握している。月2回のミーティングで話し合ったり、申し送りノートで共有を図っている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にケアマネ・本人・家族から情報を集め、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一日の流れの中で時間を追って記録を残し、状態把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 面会時に家族と話し合ったりして、介護計画を作成している。 (外部評価) 本人、家族、職員の意見も採り入れて作成されているが、計画作成後の記録や家族との話し合いが十分にされていない。	※	介護計画に応じた記録も望みたい。計画作成後も、家族と十分に話し合えるような工夫を望みたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の見直しは、各職員の意見を聞いて作成している。しかし、期間をおいての見直しであり、即対応とはなっていない。 (外部評価) 介護計画の定期的な見直しにも評価がされておらず、状態変化に応じた見直しがされていない。	※	状態変化に応じた計画見直しが必要と考えている。期間満了を待たず変えていきたい。 介護計画の見直し時の評価と、利用者の状況が変われば、本人、家族の要望も違ってくるため、その都度話し合いをして、見直しをしていくことが望まれる。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日常の記録は細かく記録されているが、見通しに活かされていない。		計画見通しに活かされるよう工夫していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 敷地内に病院があり、デイケアの方々との交流もある。本人・家族の変化に合わせて受診、リハビリにも行っている。 (外部評価) かかりつけ医受診時や外出時、リハビリ等、移送サービスを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近隣の区長さんや消防・教育機関等との関わりを持ちつつあるが、協力しながらの支援の場面はまだわずかである。		少しずつ関わりを深め、協力していきたいと思い、計画を立てている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 介護保険以外のサービスについては、本人の希望に沿うよう努力している。(往診・理容室・マッサージ等)		地域の介護従事者との話し合いの場を提供し、協力していただけるよう働きかける。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) できていない 地域推進会議で話し合いの場を持っているが、まだ協働にはなっていない。		今後、会議の回数を重ねて、協働していただけるようにしたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の意向を第一に考え、それぞれのかかりつけ医を受診している。 (外部評価) 本人及び家族の希望する医療機関を受診している。個人記録を見れば検査結果もわかり、状態把握ができるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くに認知症について相談できる医師がいるので、必要に応じて相談・受診をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 個別の主治医がいるため、その医療機関の看護職員に相談している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 密に連携が取れているとはいえないが、現状や退院の見込み等については相談に行っている。家族を通して早期退院に向けての働きかけをしている。		早期退院を可能にするため、情報交換を密に行い、病院関係者との協働を図りたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、 できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方 針を共有している	(自己評価) 入居者・家族の一部とは話し合いをしているが、 統一された方針や共有はできていない。 (外部評価) 重度化した場合や終末期のあり方について、ホー ムの対応方針が定められていない。	※	早い時期に話し合う必要性があることなので、年 度内には方針を決めたい。 ホームの対応方針を定めて、本人や家族及びかか りつけ医、ケア関係者等との話し合いを早期から 行うことを望みたい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮ら せるために、事業所の「できること・できない こと」を見極め、かかりつけ医とともにチーム としての支援に取り組んでいる。あるいは、今 後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 「できること・できないこと」の見極めについ て、準備段階である。		全員で方針を共有していることが必要であるの で、早い時期に話し合いを持ちたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 個々のケースでは管理者ができるだけ話し合いの 機会を持って、ダメージを防ぐ努力はしてきた が、ホームとして取り組むことができていなかっ た。		今後、住み替えの例が起きることを考え、ホーム として準備しておきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の取扱いはできているが、言葉がけはも う少し努力が必要である。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応にも配慮がうかがえる。居 室に入る時には、必ずノックをして、許可を得て いる。		ミーティングを利用して、職員のレベルアップを 図りたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、 わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	(自己評価) 利用者一人ひとりに合わせた、声かけを行い、自 由にマイペースで生活できるよう支援している。		認知症・人権について、職員に勉強してもらいた い。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴時間帯など希望を聞きながら、利用者のペースに合わせて生活できるようにしている。 (外部評価) 利用者は好きな時に入浴したり、食後は、利用者同士や職員とおしゃべりを楽しんだり、テレビを見たりと、個人のリズムで過ごしている。職員は常に顔色や体調を把握しながら支援している。		自分から希望されない方に表現してもらえるように関わりを工夫していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者個人個人が、行きつけのところにいけるよう支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニュー・作り方・盛り付け・配膳に参加していただいたり、声かけして、できるだけ一緒に出来ることを増やす努力をしている。 (外部評価) 職員と一緒に食事の盛り付けや配膳もしている。職員も同じ食事を利用者と楽しく会話しながら食べている。介助が必要な人にはさりげなく支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個人の習慣や楽しみを尊重し、それぞれが楽しめるよう支援している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけて、排泄パターンを把握し、自立を目指して支援している。また、トイレ誘導や失禁への対応は、利用者を傷つけないよう配慮している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 病状によって多少の制限はあるが、本人・家族の希望に沿えるよう支援している。 (外部評価) 本人の希望時間に合わせた入浴支援が行われている。入浴に拒否がある人には言葉かけや対応の工夫をして、本人が納得してから入ってもらっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の生活習慣を大切にしながら、精神面での安定を心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 料理・散歩・買い物・庭いじりなど、日常生活の中で体を動かす機会を増やすようにしている。 (外部評価) 自分で洗濯して干したり、食事の準備、調理、後片付け等手伝っている。また、ぬり絵をしたり、職員と一緒に七夕飾りを楽しく作っている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で管理できる人にはしてもらい、外出時には見守る形をとっている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的に自由に出かけている。ホームの買い物の時には、声かけし、一緒に行ってもらうこともある。 (外部評価) 一人ひとりのその日の体調や希望に合わせて、散歩、水遣り、買い物、ドライブ等、自由に外出できるよう支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族が来られた時に個別に出かけたり、普段行けない所への外出支援はできていない。ボランティアや、職員配置に工夫して、少しずつ機会を作っている。		今後は増やしていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば支援している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気兼ねなくホームを訪問できるよう、来訪時には心地よく過ごせるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 管理者・職員ともに身体拘束ないケアを認識している。身体拘束のないケアの実施を心がけている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間帯は防犯のため施錠しているが、日中は自由に出入りできるようにしている。日中、やむを得ない場合施錠することもあるが、最小限を心がけている。 (外部評価) 日中は、職員が常に共用のスペースで利用者の人達と一緒に過ごし見守っているため、鍵をかけないでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者一人ひとりを尊重しながらも、職員間で連絡を取り合って、安全に過ごせるよう注意している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し、置く場所や形に気を付けている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットの活用など、職員間で情報交換し、事故防止を心がけている。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員は普段から救命講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に訓練を行っている（避難・消火活動）が、地域の人との連絡網が行き届いていない。 (外部評価) 同一敷地内の協力医院と一緒に訓練を行っているが、地域の協力体制は十分に確保されていない。災害対応のマニュアルは作成していない。	※	地域の人々にも働きかけて、緊急時の連絡網を作成していきたい。 ホーム独自の訓練は7月に行う予定である。地域住民の参加や協力を得て、昼夜想定で、年間を通して訓練を実施することや、マニュアルの作成が望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時にいろいろな話をするが、特に起こり得るリスクや抑圧感のない生活について話をしていない。		今後は、こういう内容のことも含めてさまざまな角度から話し合っていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 時間を追って身体状況の把握に努めているため、迅速に対応できている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者ごとに作用・副作用がわかるように管理表を作成している。薬に変更があったときには、引継ぎノートによって連絡している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事の工夫をしている。 水分補給を促したり、適度に体を動かせるよう働きかけもしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、各自に応じた口腔ケアを行うようにしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者に応じて量を変えたり、状態や器を変えているまた、水分摂取にも気をつけている。介護食士による献立作りや調理のアドバイスを日常的に受けている。 (外部評価) 献立は栄養バランスや水分量を考えており、調理方法にも工夫が見られ、食事摂取量も把握しているが、摂取カロリーや水分量の把握はできていない。	※	大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のために、定期的な栄養の専門的な観点からのチェックが望まれる。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザの予防接種を毎年行っている。手すり等の消毒は行っているが、独自のマニュアルはまだ不完全である。		マニュアルを作成し、職員間で徹底したい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買い置きはあまりせず、常に新鮮な食材を使っている。食器類・調理道具や布巾は毎日消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 病院隣接のため、玄関を出ると駐車スペースになっており、あまり物を置いたりできないが、建物の周りに草花を植えたり、ベンチを配置している。		わかりやすい、入りやすい工夫をする。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自由にくつろげるようにしている。 季節感のある壁面作りや、花を飾るようにしている。 (外部評価) 居間は明るく、季節を感じさせる物や花が飾られており、居心地良く、のんびりできる空間となっている。日射しはカーテンで調節している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者がそれぞれ、テーブル・ソファのところで落ち着いていられるよう居場所を確保している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者・家族が希望するものを思い思いに持ち込んでいる。 (外部評価) 家庭より使い慣れた家具や趣味の物、愛用品等が持ち込まれ、本人の思うままに配置されており、個性のあるその人らしい居室となっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がな いよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに 行っている	(自己評価) できている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	(自己評価) 自立支援を目指すため、可能な限り手すりを設置 し、浴室にはスリッパ止めをしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	(自己評価) 居室には名札、トイレ・風呂もわかりやすく表示 されている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜作りができるようにしている。 ベンチを置き、外ですごすことができるようにし ている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	対話を心がけ、普段から思いや願いをくみ取る努力をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	意識して、一緒に作業をしたり、おやつを食べたり、散歩したりと、時間を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんは自分の時間を持って有意義に使われ、希望が叶うようにニーズに答えられるよう努力している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子でトイレに行かれる場合、職員がひと声かけて介助にすぐ行く事をお伝えしているから、安心して入り口の方へ向かわれている様子である。利用者の状態に応じた対応を心がけ、目を見て話すようにしているので、表情の変化がよくわかる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	付近での行事、祭りや外食、朝市、花見など、利用者の希望を優先して計画を立てている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	病院が併設されていること。 個人の訴えに丁寧に応え、希望があれば受診も手配している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要望が本人さんに必要かつプラスになるかを本人と複数の職員で話し合い、最良と思われる方法を選んでいる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	管理者と職員は、多忙な中でも十分に時間をとり、ご家族さんとのコミュニケーションをしっかりとることに努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	年に数回行われる行事等にデイサービスに通われている人達との交流の場があります。和やかにお互い話をされている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	2ヶ月に1回、役所の担当の方や自治会の方と話し合いの場を設け、ホーム内では得られない知識や情報をキャッチすることに意欲的である。
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	管理者と職員同士のコミュニケーションが良く取れている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要求が全て利用者さんのためになるとは思えないときもあるのだ。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者さんのご家族が全員ご来所されているわけではないので。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・入居者さんには常に穏やかで、ゆったりとした対応を心がけ、安心して暮らしていただけるよう心がけています。
- ・職員一人ひとりが、向上心を持って、介護職としてのレベルアップに努力しています。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに○を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム浜っ子

(ユニット名) グループホーム浜っ子 3F

記入者(管理者)

氏 名 三好 奈保子

評価完了日

19年 5月 20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 月2回のミーティングを利用して、職員が話し合い、理念を作った。 (外部評価) ミーティングで職員が話し合い、ホーム独自の理念をつくり、実践している。		わかりやすい言葉で、大きく掲示し、家族様にも知っていただく。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ミーティング等に確認を行ったり、日常的に意識するよう声かけを行っている。 (外部評価) 居間に理念が掲示されており、職員は常に目にすることができる。理念の通り笑顔で利用者としており、共有化されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 毎月のお知らせの他、家族様に個人的にもお知らせしている。		地域の方々にもお知らせできる方法を考えたい。
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 敷地内にベンチを置いたり、草花を植えたりして、立ち寄ってもらいやすい環境を整えているが、日常的な付き合いができるほどには至っていない。		地域の一員として、地域との交流の輪を広げていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事の運動会や文化祭などに定期的に参加したり、保育所の園児さんに来ていただくなど、地元の方と交流している。 (外部評価) 自治会に加入し、地域の行事に参加している。保育園児との交流もある。	※	地域の情報を集め、地域の一員として参加したり、役割を担ったりして、地域との交流をさらに深めていくことを期待する。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) まだまだ地域との関わりが少ないため、できていない。ミーティング時に話し合っている。		まずは、日々の交流から信頼関係を深めたい。その後、独居老人の方に食事に来ていただいたり、地域行事のときにグループホームを利用していただくなどを検討している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 理解はできているが、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいるが、結果はまだ出ていない。 (外部評価) 評価の意義は理解しており、自己評価は職員全員で行っている。外部評価の結果について改善に取り組んでおり、現在改善中の項目もある。		ソフト面で、評価を活かす改善の具体的な取組みをする。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) できている (外部評価) 会議には職員、利用者、家族、地域住民、町や地域包括支援センター職員の参加があり、意見を出してもらうことにより地域との関わりができては始めている。	※	さらに地域住民の理解を深め、利用者が地域で暮らしていくために、出された意見をサービスの質の向上に活かしていくことを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 疑問点や質問事項があれば、その都度市町村に赴き、相談している。 (外部評価) 町役場がすぐ近くにあり、疑問点や質問、相談などに対して連絡する機会をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 県やグループホーム協会からきた研修に参加し、理解を深めるようにしている。		職員間で共有できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者さんの日々の状況から、小さな変化も見逃さないようにすることによって、防止に努めている。		職員全員に研修に参加して学んでもらいたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 文書・口頭にて充分説明を行っている。 随時、家族等連絡を取り、確認している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者、職員側からも意見を尋ねている。 利用者は運営推進会議に参加していただき、外部の方への意見を述べられる。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 定期的に文書・写真等にて報告している。 健康状態については、随時連絡を取り報告している。		
			(外部評価) 毎月、領収書と共に現在の状況を郵送にて報告している。また、家族の訪問時に報告したり、状態に合わせて電話や手紙で報告している。	※	ホーム便りをつくる予定があるので、早期の実現を期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置している。また、管理者からも意見をお尋ねしている。		外部者へ表せる機会を設けたい。
			(外部評価) 意見箱を設置し、ホーム側の苦情相談窓口を居間に掲示している。家族の来訪時には声をかけ、意見を出してもらえるように心がけている。	※	第三者に相談できるように公的な苦情相談窓口を文書に記載し、本人や家族に説明することが望まれる。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを開催している。 それ以外にも、その都度意見を述べ合っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者の判断により、勤務の調整をしているが、職員からの提案による調整もし、協力してもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の希望勤務等にも配慮し、無理のない勤務体制を調整している。 (外部評価) 職員は各ユニットを行き来しており、利用者に対して顔馴染みになるよう配慮している。		職場環境を整えたり、労働意欲を高めることによって、異動や離職を防ぎたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修に参加したり、講習の参加をすすめている職員間で、お互い意見を出し合っている。 (外部評価) 管理者は日々のケアの中で質の向上を図っているが、外部研修の受講が少ない。	※	職員の質の向上のためにも、外部の研修に積極的に参加できるような配慮が望まれる。また、研修報告は全職員に伝わる工夫が望まれる。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 個人的に同業者との交流はあるが、ホームとしては地域の同業者との交流は少ない。 (外部評価) 地域の同業者との交流は積極的とはいえない。	※	同業者と交流する機会をつくり、勉強会や連携を図り、地域全体のサービスの質の向上に向けて取り組むことを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者よりストレス軽減のための話し合いをしたり、変化に気をつけ声かけをしている。		職員からの要望等に対して、もう少し細かく取り上げ、改善できる部分は改善していきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者を通して勤務状況は把握している。		職員個々の努力や実績については、声かけをしたり、給料に反映したりするなどして評価していきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者さんが納得されるまで耳を傾け、話をするよう努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族様からの要望に対し、スタッフ同士のミーティングが行われている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前に数回訪問し、適切な対応を検討している。他のサービスについても説明し、相談の上、本人・家族の了解のもとに支援している。		より適したサービスが提供できるよう他のサービスについても理解を深めていきたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族からの情報を集めることに重点を置き、馴染みながら利用していただけるよう配慮している。 (外部評価) サービスを開始する前に訪問したり、家族から情報を集めたりして、馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩として接し、共に過ごし共感することを大切にしている。 (外部評価) 職員は一緒に過ごす中で、話を聞いてもらったり、さりげなく声かけをしてお互い支えあう関係づくりをしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホームを訪ねてくれる家族さんに対してはできている。また、家族の方に近況を報告するミニレターを送って、本人について共有できるものを作っている。		あまり訪問のない家族さんへの働きかけをしていく。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族さんに利用者さんのこれまでの生活暦をできるだけ詳しく聞いている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 人により差がある		広げる努力をする。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者さん同士が仲良く生活できるようにスタッフが間に入り、適度な距離が保てるような関わりを心がけている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された方や家族あてに催しの案内を送ったり、訪問を受けたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 職員による担当制にし、その上で月2回のミーティング時や個人ノートで共有するようにしている。 (外部評価) 職員を担当制にして、日々の暮らしの中で要望を聞いたり、思いを言葉や行動から把握している。月2回のミーティングで話し合ったり、申し送りノートで共有を図っている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時、ケアマネ・本人・家族さんから情報を集め把握する努力をしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 1日の記録や、利用者さんと会話や見守りを通して、小さな変化を見逃さない努力をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 月2回ミーティングをして、介護計画にいかしている。家族の訪問の際に希望を聞いている。		家族さんの意見や希望の反映もできるように
			(外部評価) 本人、家族、職員の意見も採り入れて作成されているが、計画作成後の記録や家族との話し合いが十分にされていない。	※	介護計画に応じた記録も望みたい。計画作成後も、家族と十分に話し合えるような工夫を望みたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 本人とサービス計画者のみの話し合いにとどまっている。		
			(外部評価) 介護計画の定期的な見直しにも評価がされておらず、状態変化に応じた見直しがされていない。	※	介護計画の見直し時の評価と、利用者の状況が変われば、本人、家族の要望も違ってくるため、その都度話し合いをして、見直しをしていくことが望まれる。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記入し、情報をチーム内で共有しているが、不十分である。		計画見通しに活かされるよう工夫していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 敷地内に病院があり、デイケアの方達との交流もある。本人・家族の変化に合わせて受診、リハビリにも行っている。		
			(外部評価) かかりつけ医受診時や外出時、リハビリ等、移送サービスを行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 出来ている部分もあるが、警察・消防・文化教育機関との協力という点ではまだ不十分である。		少しずつ関わりを深め、協力していきたいと思い、計画を立てている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 介護保険以外のサービスについては、本人の希望に添うようにしている。(往診・理美容・マッサージ等)		地域の介護従事者との話合いの場を提供し、協力していただけるよう働きかける。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとの協働はまだ出来ていないが、地域との情報交換をしているところである。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者さんの体調の状態に応じて、家族さんと相談した結果、かかりつけ医を変えてとてもよい状態になった場合がある。が、本人さんの希望通りになっていない面もある。		
			(外部評価) 本人及び家族の希望する医療機関を受診している。個人記録を見れば検査結果もわかり、状態把握ができるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くに認知症について相談できる医師がいるので、必要に応じて、相談・受診をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護との協力があり、健康管理以外にも、分からない事は気軽に相談している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 密に連携が取れているとはいえないが、現状や退院の見込み等については相談に行っている。家族を通して早期退院に向けての働きかけをしている。		早期退院を可能にするため、情報交換を密に行い、病院関係者との協働を図りたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、 できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方 針を共有している	(自己評価) 入居者・家族の一部とは話し合いをしているが、 統一された方針や共有はできていない。 (外部評価) 重度化した場合や終末期のあり方について、ホー ムの対応方針が定められていない。	※	早い時期に話し合う必要性があることなので、年 度内には方針を決めたい。 ホームの対応方針を定めて、本人や家族及びかか りつけ医、ケア関係者等との話し合いを早期から 行うことを望みたい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮ら せるために、事業所の「できること・できない こと」を見極め、かかりつけ医とともにチーム としての支援に取り組んでいる。あるいは、今 後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 「できること・できないこと」の見極めについ て、準備段階である。		全員で方針を共有していることが必要であるの で、早い時期に話し合いを持ちたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 個々のケースでは、管理者ができるだけ話合いの 機会を持って、ダメージを防ぐ努力はしてきた が、ホームとして取り組むことができていなかっ た。		今後、住み替えの例が起きることを考え、ホーム として準備しておきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の取り扱いはできているが、言葉がけは もう少し努力が必要である。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応にも配慮がうかがえる。居 室に入る時には、必ずノックをして、許可を得て いる。		ミーティングを利用して、職員のレベルアップを 図りたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、 わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	(自己評価) 利用者一人ひとりに合わせた声かけを行い、自由 にマイペースで生活できるよう支援している。		認知症・人権について、職員に勉強してもらいた い。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) グループホーム全体に支障がない限り、職員が一人ひとりの希望に添って支援している。 (外部評価) 利用者は好きな時に入浴したり、食後は、利用者同士や職員とおしゃべりを楽しんだり、テレビを見たりと、個人のリズムで過ごしている。職員は常に顔色や体調を把握しながら支援している。		自分から希望されない方に表現してもらえるように関わりを工夫していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 衣服に関しては本人さんに選んでもらっている。理美容は、本人さんの希望している店へ行けるよう努力している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その人の気分や体調に合わせて、できることに参加してもらえるよう心がけている。達成感を感じてもらえるよう、必ず感謝の言葉を添える。 (外部評価) 職員と一緒に食事の盛り付けや配膳もしている。職員も同じ食事を利用者と楽しく会話しながら食べている。介助が必要な人にはさりげなく支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) その人の好みのものを、体調や症状に合わせ、楽しめるよう、職員が気をつけるようにしている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけて、排泄パターンを把握し、自立を目指して支援している。また、トイレ誘導や失禁への対応は、利用者を傷つけないよう配慮している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者さんが時間帯を決めやすいように声かけしたり、体調に合わせて入浴を楽しめるよう支援している。 (外部評価) 本人の希望時間に合わせた入浴支援が行われている。入浴に拒否がある人には言葉かけや対応の工夫をして、本人が納得してから入ってもらっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活習慣を大切にしながら、安心して休めるように心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 料理・散歩・買い物・庭いじりなど、日常生活の中で体を動かす機会を増やすようにしている。 (外部評価) 自分で洗濯して干したり、食事の準備、調理、後片付け等手伝っている。また、ぬり絵をしたり、職員と一緒に七夕飾りを楽しく作っている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人の判断能力でお金を管理し、買物時は、その人に合わせて職員が見守りや確認するようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外に花が植えてあるので、花の水遣りや散歩の声かけをして、楽しんでもらえるよう努力している。 (外部評価) 一人ひとりのその日の体調や希望に合わせて、散歩、水遣り、買い物、ドライブ等、自由に外出できるように支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族が来られた時に個別に出かけたり、普段行けない所への外出支援は、ボランティアや職員配置を工夫して少しずつ機会を作っている。		今後、増やしていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望で電話をしたり、手紙を送れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気兼ねなくホームを訪問できるよう、来訪時には心地よく過ごせるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 管理者・職員ともに身体拘束のないケアを認識している。身体拘束のないケアの実施を心がけている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間帯は防犯のため施錠しているが、日中、自由に過ごしていただいている。 (外部評価) 日中は、職員が常に共用のスペースで利用者の人達と一緒に過ごし見守っているため、鍵をかけないでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者一人ひとりを尊重しながらも、職員間で連絡を取り合って、安全に過ごせるよう注意している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し、置く場所や形に気をつけている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットの活用など、職員間で情報交換し、事故防止を心がけている。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員は普段から救命講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に訓練を行っている（避難・消火活動）が、地域の人との連絡網が行き届いていない。 (外部評価) 同一敷地内の協力医院と一緒に訓練を行っているが、地域の協力体制は十分に確保されていない。災害対応のマニュアルは作成していない。	※	地域の人々にも働きかけて、緊急時の連絡網を作成していきたい。 ホーム独自の訓練は7月に行う予定である。地域住民の参加や協力を得て、昼夜想定で、年間を通して訓練を実施することや、マニュアルの作成が望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時にいろいろな話をするが、特に起こり得るリスクや抑圧感のない生活について話をしていない。		今後は、こういう内容のことも含めてさまざまな角度から話し合っていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 時間を追って身体状況の把握に勤めているため、迅速に対応できている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者ごとに作用・副作用がわかるように管理表を作成している。薬に変更があったときには、引継ぎノートによって連絡している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事の工夫をしている。水分補給を促したり、適度に体を動かせるよう働きかけもしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、各自に応じた口腔ケアを行うようにしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者に応じて量を変えたり、状態や器を変えている。また、水分摂取にも気をつけている。介護食士による献立作りや料理のアドバイスを日常的に受けている。 (外部評価) 献立は栄養バランスや水分量を考えており、調理方法にも工夫が見られ、食事摂取量も把握しているが、摂取カロリーや水分量の把握はできていない。	※	大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のために、定期的な栄養の専門的な観点からのチェックが望まれる。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザの予防接種を毎年行っている。手すり等の消毒は行っているが、独自のマニュアルはまだ不完全である。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買い置きはあまりせず、常に新鮮な食材を使っている。食器類・調理道具や布巾は毎日消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 病院隣接のため、玄関を出ると駐車スペースになっており、あまり物を置いたりできないが、建物の周りに草花を植えたり、ベンチを配置している。		わかりやすい、入りやすい工夫をする。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自由にくつろげるようにしている。 季節感のある壁面作りや、花を飾るようにしている。 (外部評価) 居間は明るく、季節を感じさせる物や花が飾られており、居心地良く、のんびりできる空間となっている。日射しはカーテンで調節している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングには多きめのソファがあり、利用者さん同士の談話や、面会時の談話スペースとして使われている。また、居室に椅子を置くなどして、リビング以外にも一人になれる場所を作っている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご自分の家具を持ち込んでもらったり、好きな配置をしてもらって、使い慣れた、見慣れたスペースを作ってもらっている。 (外部評価) 家庭より使い慣れた家具や趣味の物、愛用品等が持ち込まれ、本人の思うままに配置されており、個性のあるその人らしい居室となっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) エアコンは必要以上に使用せず、窓の開け閉めにて調節し、冬場は湿度の調整にも気をつけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下や共有スペースには手すりがあり、歩行が少し不安な方も安全に移動できる。日中はリハビリに行かれ、身体機能の低下を防いで、回復を目指している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室には表札、トイレ・風呂も分かりやすく表示されている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 一階駐車スペースの一角には、休憩場所あり、散歩に出たとき等、利用者さん同士の談話スペースとして使われている。花や野菜作りができるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	対話を心がけ、普段から思いや願いをくみ取る努力をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	意識して、一緒に作業をしたり、おやつを食べたり、散歩したりと、時間を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんは自分の時間を持って有意義に使われ、希望が叶うようにニーズに答えられるよう努力している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子でトイレに行かれる場合、職員がひと声かけて介助にすぐ行く事をお伝えしているから、安心して入り口の方へ向かわれている様子である。利用者の状態に応じた対応を心がけ、目を見て話すようにしているので、表情の変化がよくわかる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	付近での行事、祭りや外食、朝市、花見など、利用者の希望を優先して計画を立てている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	病院が併設されていること。 個人の訴えに丁寧に答え、希望があれば受診も手配している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要望が本人さんに必要かつプラスになるかを本人と複数の職員で話し合い、最良と思われる方法を選んでいる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	管理者と職員は、多忙な中でも十分に時間をとり、ご家族さんとのコミュニケーションをしっかりとることに努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	年に数回行われる行事等にデイサービスに通われている人達との交流の場があります。和やかにお互い話をされている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	2ヶ月に1回、役所の担当の方や自治会の方と話し合いの場を設け、ホーム内では得られない知識や情報をキャッチすることに意欲的である。
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	管理者と職員同士のコミュニケーションが良く取れている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要求が全て利用者さんのためになるとは思えないときもあるのだ。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者さんのご家族が全員ご来所されているわけではないので。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・入居者さんには常に穏やかで、ゆったりとした対応を心がけ、安心して暮らしていただけるよう心がけています。
- ・職員一人ひとりが、向上心を持って、介護職としてのレベルアップに努力しています。